

にしごおりじゅうたくとうそう さいだい やまば  
**西郡住宅闘争の最大の山場**

しませ つくだくん すえみつ いんちよう しょうげん  
**島瀬さん、佃君、末光院長が証言**

# 9・19住宅裁判

## に行こう



13年6月20日住宅裁判を終え大阪地裁前で意気高い10家族と住民

15年にわたって闘い抜かれて  
にしごおりじゅうたくとうそうさいばん さい  
いる西郡住宅闘争裁判は、最  
だい さいこう やまば むか  
大・最高の山場を迎えました。

9月19日、大阪地裁・大法廷  
しませ つくだくん すえみつ  
で、島瀬さん、佃君、末光院  
ちょうしょうにん た おうのうおうえきや  
長が証人に立ち、応能応益家  
ちんせいど やあし さらちか てつ  
賃制度と八尾市の更地化を徹  
ていてき あば だんがい たたか  
底的に暴き、弾劾して闘いま  
す。100名の傍聴席を埋め  
めい ぼうちようせき う  
尽くし、3人と共に闘おう。

9月19日は、何がなんでも  
おおさかちさい い  
大阪地裁へ行こう。

9月19日(木)ひる12時  
やおきた あつ くだ  
八尾北に集まって下さい。

バスで一緒に行きましょう。

おおさかちさい だいほうてい じはんかいてい  
大阪地裁202大法廷 1時半開廷



はたん 破綻している応能応益家賃制度は即時廃止すべき。  
じゅうみんお だ 住民追い出しは許されない。判決は棄却しかない。

わたし 私、応能応益家賃制度が住民を追い出し西郡を更地化するた  
め導入されたこと。この10家族への住宅追い出し裁判も更地化  
と完全に一体であること。だから八尾市は、福祉住替えなど全く  
あとまわし 後回しにして、更地化のために住民が死ぬのを待っていることを  
徹底的に弾劾して証言したいと思ひます。応能応益家賃制度はす  
でに破綻し、即時廃止すべきなのです。応能応益家賃制度に基づ  
く住宅明け渡し請求なんか棄却されて当然と訴えたいと思ひます。

さらに、住民の「納付相談」を、住民の追い出し・更地化のた  
めに、意識的につぶしたのも八尾市の側です。

八尾市は、建替えは43棟で終わり。あとは、ばらばらに取り残  
された高齢者を、半分ぐらいの団地に住替えさせて(押し込み)、  
残り半分のカラになった団地をつぶして更地にして、大資本に売  
り飛ばそうとしています。

さらに許せないことは「改良住宅は地域改善事業に協力して住  
宅を失った人が入居した住宅だから、空き家になったら目的を達  
したと言つことだから新たに建替えない」と言っていることです。  
応能応益家賃制度や強制執行で1000人以上の若者家族、住民  
を追い出してにおいて、何を言つか!です。判決は棄却しかない。



八尾北医療センター院長  
末光 道正(証言します)



7月14日全国水平同盟の新しい荊冠旗が翻った

みなな仲間や、団結取りもどそう  
西郡支部書記長 森本 政二

花屋の森本です。自分から進んで、供託を降りて、裏切った  
人など誰一人としていない。みんな、仲間や。八尾市を弾劾し、  
9月19日の裁判傍聴に、一緒に行こう。  
これまで、八尾市と地区協会は、ウソとだまし、脅しをかけて  
きた。友達に、「なんで供託おりたんや」と、聞いてみた。友  
達は、「降りたくなかった」と。ところが、八尾市が「強制執  
行に入る」と脅してきた。と。そう言う八尾市の脅し、何人が  
に聞いた。そうして脅されたその友達も裏切ったという気持ち  
になっている。いや、裏切ったん違う。みんな八尾市に騙され、  
脅されたんや。ぼくもそうや。裏切ったと悩んできた。でも、  
みんな、仲間や。このままま  
は、生きていけない。団結を取  
り戻したら生きていける。20  
09年の「2・26」強制執行と  
対決して、それが分かった。  
みんな仲間と共に、今度の9  
月19日の裁判闘争に結集して。  
傍聴席に入りきらないくらい集  
まり、八尾市を弾劾していこう  
と、いろんな人に声を掛けてい  
こう。

**全国水平同盟西郡支部**  
八尾北医療センター労組

連絡先：八尾市桂町6-18-20  
電話・FAX：072-991-7729  
ブログ<http://nisigoorisibu.colog-nifty.com/blog/>  
メール：[zensuidoumei@yahoo.co.jp](mailto:zensuidoumei@yahoo.co.jp)



八尾北・西郡16年の闘いが八尾市を追いつめている。自治労大会では全国水平同盟の登場が全国の労働者に共感を呼んだ。みんな傍聴闘争に立ち上がる。



全国水平同盟委員長

西郡支部長 岡 邨 洋

声をあげることが大事です。全国水平同盟は、労働組合を作つて国鉄闘争やあらゆる闘いにつながっていきます。そういう全く新しい解放運動を作っていきます。

先日、大阪で開かれた自治労全国大会では、全国水平同盟の立ち上げと現業の民営化絶対反対を訴え、3000枚のピラをまき、結成大会のパンフを売ってきました。既成指導部を倒して職場の権力を取っていく、そういう闘いが始まっています。情勢が動きはじめています。新自由主義の攻撃で大資本の意を受けて安倍政権が、成長戦略でTPPや総非正規職化、首切り自由と社会保障切り捨て、あらゆるものを金次第にする攻撃です。八尾市も同じ攻撃をかけて来ています。

「応能応益家賃は廃止」を訴え、闘いながら亡くなった息子、大北昌和の遺志を引き継いで闘う



西郡住宅裁判を闘う住民 島瀬 豊子 (証言します)

9月19日の証言の本番では、何かなんでもがんばってやり遂げたいと思います。

私は、亡くなった大北昌和の母親です。現在87歳になります。私たちが4人家族は、1960年10月、南宮の日に、大阪の生野から西郡にきました。ちょうど、部落差別をなくすために住宅建設の運動が大きくなっていった頃でした。主人は、ムラのひとと一緒に、住宅建設で、よく八尾市に交渉に行ったり、もっと団地を増やすため、東京にも何度も行っていました。1の住宅は市営住宅と言っても自分の家であり、夫や村の人が運動をして苦勞をした歴史の詰まった誇りのある住宅です。

地区協 吉村議員が八尾市と手を組んで応能応益家賃制度を導入したのです。そのため、若い人が出て行かなければならなくなり、ムラがばらばらにされ、助け合ったり出来なくなりました。昌和は、家賃が上がって住めなくなる、と反対して、供託をはじめました。昌和の言っていた通りになりました。八尾市・由中市長は、店舗付3号棟から、私

を追い出して、カラにして早くつぶして更地にしたいのです。いかなることを許したら生きていけません。私は、昌和の遺志を引き継いで最後まで闘います。



しかし八尾北・西郡闘争16年の攻防が絶対反対の団結で八尾市を追いつめてきました。民営化・外注化の八尾北医療センターの医療と介護つぶし、応能応益家賃制度による住民追い出し、住宅の更地化を暴きました。エレベータのない4・5階に住む住民の住み替え要求に、空いている住宅があるのに福祉住み替えをさせない!「死ね」というのか! 団結の力で福祉住み替えを勝ちとろう。西郡支部の闘いが八尾北労組と共に住宅の機能更新計画の民営化・外注化、更地化・廃村を阻止しています。私たちの闘いが全国の労働者にどれだけの影響を与えているか。私たちの絶対反対の闘いは、橋下の道州制をうち破る最前線の闘いです。橋下打倒の労働者の決起が始まっています。



8月24~28日開催された自治労大会に登場。圧倒的注目と感動を呼ぶ

この中で、9月19日、10家族の住宅裁判があります。3人が証人に立ち、八尾市を徹底弾劾し、応能応益家賃制度の不当性を徹底的に明らかにします。傍聴席を埋め尽くし、3人と共に闘いましょう。



全国水平同盟西郡支部 青年部長・佃 文弘 (証言します)

青年の闘いが始まった。労働者階級の真っ只中で団結を取り戻していく新たな解放運動を進めよう

八尾市は、「駐車場を返すなら、住宅も明け渡せ」と言ってきました。これは私をはじめ住宅明け渡し更地化に反対して闘っているみんなに対する弾圧です。絶対許せません。この気持ちで証人に立ちます。

私は今年の春に、四条畷駅で勤労西日本のストライキに連帯しスト支援闘争を闘いました。低賃金で青年の生きていく権利が奪われている中で、生活を

7月14日に私たちは全国水平同盟を結成しました。今までの部落解放とは全く違い、部落民だけの枠で考える解放でなく、労働者階級の真っ只中で、労働組合を中心として、共に団結を取り戻していく部落解放なのです。運送会社で働く西郡支部の青年が、懲戒処分に対する反対の声を上げ、関西合同労組に結集して闘っています。私も西郡支部青年部長として責任をとるとともにこの住宅裁判を最後までやり切りたいと思っています。

9.29 橋下打倒集会
9月29日(日)午後1時~ 中之島公園・女神像前
民営化・外注化!! 全員解雇絶対反対!
ストライキで闘う労働組合を!!